

平成22年度第2回臨時会議事日程 (第1号)

平成22年2月16日(火曜日)午前10時 開議

日程第1 会議録署名議員の指名について

日程第2 会期の決定について

日程第3 議第4号 平成21年度下呂市一般会計補正予算

日程第4 議第5号 平成21年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算

出席議員(21名)

議長	木 一 良 政	1 番	今 井 政 嘉
2 番	山 川 博 己	3 番	日下部 俊 雄
4 番	中 島 博 隆	5 番	伊 藤 嚴 悟
6 番	松 井 旬 子	7 番	一 木 良 一
8 番	奥 田 重 後	9 番	服 部 秀 洋
10 番	吾 郷 孝 枝	11 番	二 村 金 吾
12 番	中 島 新 吾	13 番	中 島 達 也
14 番	熊 崎 兼 治	16 番	中 野 憲 太 郎
17 番	田 口 幸 雄	18 番	山 下 一 彦
19 番	二 村 勝 己	20 番	大 前 武 憲
21 番	宮 川 茂 治		

欠席議員(なし)

地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者の職・氏名

市長	野 村 誠	副市長	金 山 鎮 雄
教育長	長谷川 藤 三	総務部長	今 井 能 和
企画部長	早 兼 高 美	市民部長	今 井 隆 夫
健康福祉部長	熊 崎 武 司	農林部長	田 口 守 彦
観光商工部長	曾 我 満 利	建設部長	杉 山 裕
水道料金課長	加 藤 和 男	環境部長	栃 井 利 夫
教育総務課長	池 戸 昇	消防長	住 弥
金山病院		萩原振興	
事務局長	蒲 宜 久	事務所長	青 木 進 一
下呂振興		金山振興	
事務所長	細 江 義 和	事務所長	中 島 俊 則
馬瀬振興		総務部理事兼小坂振興	
事務所長	川 口 太 三	事務所長事務取扱	阪 本 敏 男

本会議に職務のため出席した者の職・氏名

議会議務局長 村山鏡子

書記 松田健司

書記

二村勝浩

午前 10 時 00 分 開会

◎開会及び開議の宣告

○議長（木一良政君）

おはようございます。

ただいまの出席議員は 21 名で定足数に達しております。よって、平成 22 年第 2 回下呂市議会臨時会を開会いたします。

本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

本日は、教育部長にかわり教育総務課長が、上下水道部長にかわり水道料金課長が代理出席であります。

◎会議録署名議員の指名について

○議長（木一良政君）

日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第 81 条の規定により、3 番 日下部俊雄君、4 番 中島博隆君を指名いたします。

◎会期の決定について

○議長（木一良政君）

日程第 2、会期の決定についてを議題といたします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日 1 日としたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、本臨時会の会期は本日 1 日と決定いたしました。

◎議第 4 号及び議第 5 号について（議案説明・質疑・討論・採決）

○議長（木一良政君）

日程第 3、議第 4 号 平成 21 年度下呂市一般会計補正予算、日程第 4、議第 5 号 平成 21 年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算、以上 2 件を一括議題といたします。

議第 4 号及び議第 5 号の提案説明を求めます。

市長。

○市長（野村 誠君）

おはようございます。御苦勞さまでございます。

ただいま上程されました議第 4 号及び議第 5 号の補正予算につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

議第 4 号につきましては、平成 21 年 12 月 8 日に閣議決定されました「明日の安心と成長のための緊急経済対策」を踏まえ、平成 22 年 1 月 28 日に成立いたしました国の平成 21 年度第 2 次補正予算において、地方支援として地域活性化・きめ細やかな臨時交付金が創設されたことに伴い、交付金の要綱に基づいて 31 事業の選定を行い、補正をお願いするものでございます。

また、あわせて除雪に関する費用、介護基盤等緊急整備補助金、トマト栽培農家への緊急支援事業、飛騨・美濃じまん農産物育成支援事業、韓国ドラマの撮影に係るフィルムコミッション事業補助金等の

補正を、国庫補助金、県補助金、財政調整基金の繰り入れ等を財源として補正するものでございます。

議第5号につきましては、下呂財産区の補正でございます。

詳細につきましては担当部長が説明いたしますので、よろしくお願いたします。

○議長（木一良政君）

それでは、議第4号及び議第5号について詳細説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（今井能和君）

おはようございます。

補正予算書の1ページをお願いいたします。

議第4号 平成21年度下呂市一般会計補正予算（第9号）の説明を申し上げます。

第1条は歳入歳出予算の補正で、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5億814万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ241億9,511万6,000円とするものでございます。

第2条は繰越明許費の補正で、繰越明許費の追加は、「第2表 繰越明許費補正」によるものでございます。平成22年2月16日提出。

次に、4ページをお願いいたします。

第2表 繰越明許費補正でございます。

今回、補正をお願いしております国の平成21年度第2次補正予算に伴う地域活性化・きめ細かな臨時交付金に係る事業について、4ページから5ページに記載しております31事業につきまして、年度内の完成及び完了が見込めないということから、総額で4億1,278万2,000円の繰越明許費の追加をお願いするものでございます。

次に、7ページをお願いいたします。

歳入歳出補正予算事項別明細書の総括でございます。

歳入の補正でございますが、12款分担金及び負担金330万円、国庫支出金3億98万6,000円、県支出金3,306万1,000円、繰入金1億7,080万円でございます。

次のページをお願いいたします。

歳出の補正でございます。

総務費で1,352万5,000円、民生費6,479万2,000円、農林水産業費1億1,415万1,000円、商工費5,500万円、土木費2億2,885万円、教育費2,814万円、予備費が368万9,000円でございます。

次のページをお願いいたします。

9ページからは、歳入の事項別明細書でございます。

上段の分担金及び負担金、分担金の農林水産業費分担金330万円の増につきましては、農業費分担金で、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業に係る分担金10万円と、林業費分担金で、地域活性化・きめ細かな臨時交付金で行う林道4路線に伴う分担金320万円でございます。

中段は国庫支出金、国庫補助金の総務費国庫補助金3億98万6,000円の増でございますが、これは地域活性化・きめ細かな臨時交付金でございます。

下段、県支出金、県補助金の民生費県補助金2,625万円の増につきましては、介護基盤等緊急整備補助金で、県の内示を受けたことにより増額するものでございます。

その下の農林水産業費県補助金381万1,000円の増は、飛騨・美濃じまん農産物育成支援事業補助金で、県の補助の2次要望に採択されましたことに伴い増額するものでございます。

その下の商工費県補助金300万円は、フィルムコミッション事業に係る岐阜県市町村補助金を増額す

るものでございます。

次のページをお願いいたします。

上段、繰入金の基金繰入金 1 億 7,000 万円の増につきましては、今回の補正財源として財政調整基金からの繰入金を増額するものでございます。

その下、財産区繰入金 80 万円の増は下呂財産区からの繰入金で、農業用水路の改良、林道出水線舗装工事に充当するものでございます。

次のページをお願いいたします。

11 ページからは、歳出の事項別明細書でございます。説明欄で説明を加えてまいりますので、よろしくをお願いいたします。

上段の総務費、総務管理費の財産管理費、市民会館維持補修費 472 万 5,000 円の増は、下呂民会館のエレベーターの改修を行うものです。財源につきましては、地域活性化・経済危機臨時対策交付金を 3 月補正で充当する予定にしておる事業でございます。その下、地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業 880 万円の増は、今年度取得しました下呂市庁舎北側の駐車場について、段差をなくし、防災倉庫の位置を変えまして使いやすくするために整備するものでございます。

その下、民生費、社会福祉費の高齢者福祉費、地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業 1,444 万 3,000 円の増は、かなやまサニーランドの浴室等の改修を行うもので、機械浴中心の入浴サービスの形態から個別入浴サービスに方法を変更するための改修でございます。内容につきましては、設計委託料 98 万 9,000 円、工事請負費 1,345 万 4,000 円でございます。

その下の介護保険費、介護基盤等緊急整備等助成事業 2,625 万円の増は、金山の認知症高齢者グループホームうらら金山において、1 ユニット 9 床分を増床整備することに伴う助成金で、県の内示を受けたことに伴い、早期に事業を着手したいことから、今回の補正で増額するものでございます。

次のページをお願いいたします。

11 ページから 12 ページにわたっております。上段でございますが、養護老人ホーム費、地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業 2,409 万 9,000 円の増は、あさぎりサニーランドの養護棟の 2 階を 1 階同様にバリアフリー化して、プライバシーが確保できるよう和室を洋室化するもので、あわせて老朽化に伴う漏水対策として、給水管の一部を施設がえを行うものでございます。

下段の農林水産業費、農業費の農業振興費、農業振興諸経費臨時 583 万円の増は、トマト栽培農家緊急支援事業補助金で、昨年夏の長雨と低温障害によりまして収穫が激減したことと、台風によるビニールハウスの被害などが重なったことから、下呂市農林業振興補助金交付要綱により緊急支援を実施するものでございます。その下の飛騨・美濃じまん農産物育成支援事業 702 万 1,000 円の増は、県の 2 次要望で採択されたものでございます。菌床シイタケの培養施設等の整備に対する補助金で、県補助金と合わせて事業費の 12 分の 7 を補助するものでございます。1,050 万でございますが、他の事業との調整をした結果によりまして、補正額としては 702 万 1,000 円というふうになっております。

その下の農地費でございますが、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業 200 万円の増は、東上田地内の農業用水路 60 メートルを改良するもので、春の農繁期前に同交付金で整備を行いたいということから補正をお願いするものでございます。

次、13 ページをお願いいたします。

中段、林業費の治山林道費、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業は林道根越線において発生したのり面崩壊に伴う改良工事を行うため、不用となった測量設計委託料と組み替えを行うものであります。その下の地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業 9,930 万円の増は、林道の舗装、改良 7 路線と 1

カ所の流路工整備を行うものでございます。

それから、13 ページから 14 ページにかけまして、商工費、観光費の観光振興費、観光客誘致対策事業 1,500 万の増でございますが、これにつきましては、韓国ドラマのロケ地となることが決定をしまして、フィルムコミッション事業として下呂市温泉観光協会の助成金でございます。

次の 14 ページをお願いいたします。

上段の地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業 4,000 万円の増は、下呂温泉市街地において道路沿線や空き地等を利用して広葉樹等の植栽を行い、市街地の景観整備を進めるものでございます。

中段からの土木費、道路橋梁費の道路維持費 3,085 万円の増は、年末年始にまとまった降雪があり、市内各所で除雪を行った結果、市道除雪対策費に不足を生じたため、融雪剤購入費に充てる消耗品 85 万円と除雪の委託料 3,000 万円を補正するものでございます。

その下、これも 15 ページまでかけてでございますが、道路新設改良費 1 億 9,800 万円の増は、地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業で道路改良・舗装 7 路線、側溝、排水路の改修 7 路線、橋梁の補修 4 カ所を行うものでございます。設計委託料が 350 万円、それから工事費につきましては 1 億 9,150 万円で、2 路線の用地購入費 1,100 万円も計上させていただいております。

次のページをお願いいたします。

中段でございますが、教育費、保健体育費の体育施設費、地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業 2,814 万円の増額でございますが、これはあさぎりスポーツ公園多目的グラウンドにつきまして、ぎふ清流国体の女子・男子ソフトボール会場となることも踏まえまして、土壌改良を含め面的な整備を行うものでございます。

下段、予備費でございます。今回の補正の歳入から歳出を差し引いた差額 368 万 9,000 円を予備費で調整するものでございます。

次に 17 ページをお願いいたします。

議第 5 号 平成 21 年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算（第 3 号）の説明を申し上げます。

第 1 条は歳出予算の補正でございます。歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳出予算の金額は、「第 1 表 歳出予算補正」によるものでございます。平成 22 年 2 月 16 日提出。

20 ページをお願いいたします。

事項別明細書で説明をさせていただきます。

諸支出金の繰出金、一般会計繰出金 80 万円につきましては、一般会計補正予算で説明をさせていただきましたが、2 事業に係る繰出金でございます。予備費 80 万円を減額して調整するものでございます。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしく御審議のほどお願いいたします。

○議長（木一良政君）

これより本案に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

[挙手する者あり]

13 番 中島達也君。

○13 番（中島達也君）

大変こういう疲弊した下呂の産業界の中で、こういった事業ができるということは大変ありがたいと思っておりますが、ちょっと確認だけさせていただきたいんですが、今回の補正で、1 月 22 日の全協

において、A3の資料で30事業ですか、これはまだ申請前ということだったんですが、これは全部採択されたのかという確認と、歳入の方で、一応交付金の総額が3億余ということで、あと県の方から3,000万ほど入っておりますが、これは今回の事業に対しての裏打ちはないというふうに今の説明では理解したんですが、そうなのか。30事業についての県からのお金というふうに理解したんですが、あと一般財源については財調を取り崩して充当したと、そういった理解でいいのか、その辺の確認だけさせていただきます。

○議長（木一良政君）

企画部長。

○企画部長（早兼高美君）

まず、私の方から1点目の30の事業、22日に説明させていただいた事業についての変更があったのなかったのかということで説明させていただきますが、これにつきましては、4ページ、5ページのところをちょっと見ていただきますと、1件ふえてございます。当然、全協の事業計画を説明させていただくときに変更があるというようなことも申し上げたと思いますけれども、林業費の中の一番下の段でございますけれども、上呂の門洞の流路工事が1件ふえてございます。ふえてございますけれども、その上の林道樫谷の舗装工事、こちらの方でその事業費分を減額調整させていただいておりますということで、事業量は変わっておりますけれども金額については変わっておりませんので、よろしく願いをいたします。

○議長（木一良政君）

総務部長。

○総務部長（今井能和君）

地域活性化・きめ細かな臨時交付金の額については3億98万6,000円ということでございます。それでどうしても事業を起こしますと、入札等で請負減少とかいうことも出てきます。臨時交付金を目いっぱい申請していただくためには、どうしても一般財源である程度補てんをしておかないと事業ができないということで、最終的には請負減少等ありますので、これだけ使うことはないと思いますが、予算上はどうしても一般財源を充てておく必要があるということから、現在のところでは、財政調整基金を取り崩して予算としては上げさせていただいたところでございます。

〔挙手する者あり〕

○議長（木一良政君）

13番 中島達也君。

○13番（中島達也君）

それで細かいことを聞くが、今回のきめ細かな臨時交付金については、県からの裏打ちはないという理解でいいということですね。

○議長（木一良政君）

企画部長。

○企画部長（早兼高美君）

県からの裏打ちはございません。以上でございます。

〔挙手する者あり〕

○議長（木一良政君）

13番 中島達也君。

○13番（中島達也君）

オーケーです。

○議長（木一良政君）

よろしいですか。

ほかにございませんか。

〔挙手する者あり〕

3番 日下部俊雄君。

○3番（日下部俊雄君）

きょう資料も配られましたけれども、補助金交付要望書の撮影に関することですが、けさ、ちょうど中島新吾議員と電話をしていましたらキャッチホンが入りまして、何かと思って電話をしたら小坂の観光協会からの電話で、けさ下呂の観光協会から小坂に電話が入って、きょう滝の撮影のことで話しに行くからみんな寄っておいてくれと、議員も寄せておいてくれということやから連絡したというような話で、きょうはそのことの議会があるから行けないと伝えてくれというようなことも言ったんですけれども、私がここで質問したいのは、こういうことに対しての補助金交付の申請は下呂温泉観光協会から出ているけれども、これに対して市が補助することの意味は、やっぱり下呂市を広く知ってもらう、全体を知ってもらうということですので、この前の建設経済委員会の説明があったときからでも、この申請書は1月18日に出ているし、市の方からのそういう連絡も必要だし、その時点で、下呂温泉観光協会から小坂の滝というだけではなくて、やっぱり金山、萩原、そして馬瀬にも連絡をとって、皆さん協力してくださいということで、下呂市全体で取り組むということが必要じゃないかと思うんです。

昨年12月の議会を私は欠席しましたがけれども、あのときはごみ処理場の問題に皆さん集中しておったので、あまり花火のことについてはこの議会の場でもなかったようですが、たまたまきのうは小売の方、それから下呂市の旅館の方とも一緒になる機会がありまして、話を聞いたんですが、このことについては知ってはいるけれど、肝心の下呂の中でも、それだけ詳しい話というか、みんなでやろうというふうにはなっていないと。また、ましてや小売の方については、いろんな業界があって、農業のところでも、今回トマトのことなんかが出ておりますけれども、特に小売というのは補助とかこういうことに全く届かないところなので、小坂とか、直接は馬瀬、金山の人たちの話は聞いてはおりませんが、そういうところからも、何かとこういう観光ばかりというような声もありますので、みんなで守り立てるということにぜひ心してもらいように、市としてもそういう取り組みが必要じゃないかと思うんです。

このこと自体はけさの電話でも、ちょうど議会ということを行いましたので、私は意見を言って賛成するけれどもと言っておきましたが、ぜひ市民の応援してもらえようというやり方で進めてもらいたいということだけ述べたいと思います。市長、考えをお願いします。

○議長（木一良政君）

市長。

○市長（野村 誠君）

御意見はおっしゃるとおりだと思います。それで下呂市内に五つの観光協会があつて、連絡協議会があるわけですから、そういったところを通じながら情報の横のつながり、情報の共有化ということが大切ではないかと思ひます。また、後ほど観光部長の方から細かい説明をしたいと思います。市内各所にわたつての撮影ということでございまして、横のつながりということがやはり大事ではないかということをお考へしております。

○議長（木一良政君）

観光商工部長。

○観光商工部長（曾我満利君）

フィルムコミッションということで、今回 1,500 万上げさせてもらっておりますが、少し説明だけさせていただきますと、フィルムコミッションというのは、観光名所や古い町並みを映画・ドラマ等で宣伝をし、誘致をするといったことを目的に行うのがこの事業であります。今回、下呂温泉の観光協会の方から韓国ドラマの誘致をしたいということで、昨年 12 月末でしたけれどもお見えになりました。

それでうちの方、県といろいろと相談をしました結果、観光客の誘致のために助成することによって、来年、国が目指しております外国人誘致等の先行にもなるので、ぜひ協力していくという格好で県と協議をいたしました。県の方からも振興補助金、年度末、なかなか補助金がないという中で 300 万捻出をしていただきましたので、市としても最大のバックアップをしたいということで今回の補正に上げさせてもらっております。

撮影場所等につきましても、韓国のスタッフ等によって決められるわけですが、情報がこちらになかなか入ってこなかったということで、皆さん方にはっきりしたことを言えなかったのも現実であります。そういった中で、今回の撮影場所が大体見えてきたんですが、下呂温泉につきましては合掌村、小坂につきましては巖立公園等を含めました滝周辺、それから馬瀬につきましては、いわゆる雪の風景をたくさん必要ということで、馬瀬の雪の風景、それから山之口の雪の風景等を撮影するということでもありますけれども、その日程につきましても、その日に決めて向かうとか、そういったもので行ってみるのが現状でありますので、なかなか他の観光協会さんの方へ事前にお知らせをするということが難しい状態でありましたので、連絡がうまく届いておらんといっておるのも現状であります。今後こういったものがあるときには、事前にもう少し早くキャッチをしながら、五つの観光協会も含めまして、いろんな協議をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

〔挙手する者あり〕

○議長（木一良政君）

3 番 日下部俊雄君。

○3 番（日下部俊雄君）

観光協会の連携とか、そういう市内の広域的な取り組みについては、日ごろ我が党の宮川議員にいろいろと言ってもらっておりますが、ちょうど昨日の「赤旗」全国版日刊紙に「わが街ふるさと」ということで宮川議員の投稿が出ておりますけど、2 段の横抜きで下呂市を紹介しておりますが、やっぱり全体を紹介しているというようなこともありますので、披露しながら、参考にさせていただきたいと思ひます。

○議長（木一良政君）

よろしいですか。

〔挙手する者あり〕

5 番 伊藤巖悟君。

○5 番（伊藤巖悟君）

この件について関連的なことかと思ひますけれども、質問させていただきますが、私は今前原国交大臣が、とにかく日本の経済の活性化のために観光産業を大事にせなならんということは国会でも言っておられますので、基本的にはこういう対応については理解をするものであります。

したがって、私が申し上げたいのは、特に観光商工部長に申し上げたいと思ひますけれども、冬の花火につきましても、今回のこの件につきましても、野村市長は公約で 150 万誘致という話で、今から思

うと大ぶろしきで事が始まっておることであろう。しかし、現実はそのような甘いものではない。したがって、私は現実の厳しさというものは数字に出して、資料として、そして今の下呂市民3万7,000有余の人たちに、下呂の基幹産業である観光がこういうことだから、しっかりとより協力体制というか、心のつながりを持って、下呂市の観光人口をふやすために皆さんに理解を求めると。これには具体的な今の実情をもっと知らしめる必要があると思います。そういう中で政策を立て、こういうような考え方で向かうことがどういう効果がある。要するに補助金の金額が先走って、非常に市民からは、何でそんなことにそんな金をこの厳しいときに使うんやと、こういうものがなかなか理解をしていただけないという点が多々あると思います。今の状況は、1次、2次、3次産業すべてが厳しい状況ですので、しっかりとその辺の数字の把握をすべきだということを思います。

そして、でき得れば、こんな150万誘致なんてスローガンは取り下げて、現実的な数字に変えていかないと、もはや大方3年たつような状況になって、だんだん減ってきてよるということを現実的な判断として取り入れていかないと、なかなか市民の理解は得られないというふうに私は印象として思っております。しかしながら、今の問題については、やはり緊急的な状況として、少しでもこういう機会に、下呂市の観光というものを世間一般により広く理解してもらうためには、これは認めるべきであろうという判断ですけれども、しかし、その前段になる政策的な考え方というものを明快に示していただきたいと思いますので、考え方をお示してください。

○議長（木一良政君）

観光商工部長。

○観光商工部長（曾我満利君）

言われるとおりだと思いますが、今集計を途中でしておる段階でありますけれども、3月になりましたらおおよそのものが出ると思います。3月に観光計画の発表もいたしますし、ホスピタリティー宣言の発表もいたしますけれども、それとあわせて、今の下呂温泉の置かれている状況、下呂市の置かれている状況も含めまして、発表していきたいなということを思っていますし、今現在も下呂温泉は100万人を切るような状態になっておりますけれども、何とか100万人を上回るような形で持っていけんかなということで、今短期的なことでいろいろと予算を立てて、皆さん方に心配をかけておるわけなんです、花火とか韓国ドラマにつきましても、かなり人が来てくれております。韓国ドラマもちょっと心配をしておるわけなんです、今の駅、それから観光案内所、いろんな問い合わせで、かなりの方がそれを目当てに来てみえるという情報も入っておりますので、何とか2月、3月ちょっと頑張らせていただいて、100万人をオーバーするといった形に持っていきたいなと思っていますので、よろしくお願ひします。

〔挙手する者あり〕

○議長（木一良政君）

5番 伊藤巖悟君。

○5番（伊藤巖悟君）

今の部長の話は、目先の場当たりの思いの中でも緊急避難的に対策をとっていきなと、こういうふうに理解をします。けれども、私の言いたいことは、しっかりと投資効果というものを見定めて、市民3万7,000人がそのことに理解をされるような情報をしっかりと流していく必要があると。厳しいなら厳しいで、我々の基幹産業として下呂の観光は大事なんだという認識が市民の中には、花火なら花火、あんなものは行っただちっともプラスにならない、そういう意見も多々聞こえてきますので、でき得る限り皆さんに、こういう状況だからしっかりとこの観光産業が下呂市の経済効果として大事な産業だという認識を、いま一度市民の皆さんに理解を深めていく努力が必要であろうと申し上げて、終

わります。

○議長（木一良政君）

ほかに質疑はありませんか。

〔挙手する者あり〕

10番 吾郷孝枝さん。

○10番（吾郷孝枝君）

この下呂市の中で、観光事業というのは本当に大切な事業だということは私もよく認識をしております。そういう意味で、今回韓国のドラマにこういったフィルムコミッションの予算を計上されたということは、それはそれである程度はということだと思いますけれども、この下呂市の中で観光事業に力を入れるということは私は反対するものでもありませんし、韓国に市場を広げていくということも大事なことだと思いますが、下呂市全体を考えると、当初の予算で観光事業に4億予算が計上されていますね。その中で、観光客誘致対策事業としては1億700万円が当初予算で計上されているんですね。今度、13ページの補正では、観光客誘致対策事業として1,500万円が補正追加されたわけなんです。

これは本来でいきますと、当初の観光客誘致対策事業の1億円の中で、それぞれ下呂温泉観光協会なり、下呂温泉旅館協同組合なりがどういうことに使ったら一番効果があるかということいろいろ工夫をされて、韓国ドラマの宣伝に使ってもらおうとか、こういうふうに判断をされるのが本来の道筋だと思うんですけど、今回急に降ってわいたように下呂温泉観光協会の方から要望書が出てきて、地域経済活性化に寄与するために誘客宣伝事業に係る補助金を要望いたしますという要望書が出て、下呂市がそれにこたえたような形なんですけれども、じゃあ当初の1億円の誘客予算は何だったのか、この範囲でできなかったのか、そここのところを市の方はどう考えてみえるのか、お尋ねをします。

○議長（木一良政君）

観光商工部長。

○観光商工部長（曾我満利君）

観光費が4億余りの当初予算で動いております。それでいろんな事業を継続して執行しておるわけなんですけど、今現在になってという話なんですけど、大方の事業が消化をされてきておる中で、今から1,500万という金を捻出するには、年度末ということもありましてなかなか難しいということで、過去に1億という金につきましても執行を済ましてきておるということで、うちが補助を出す残りがまだ1,300万ほどあるんですけど、それも含めて観光協会が捻出をすることになっておりますので、事業が年度当初でありましたら、その中身の変更をしてでもそちらに向けていくことが可能かもしれませんが、やはり年度末ということもありまして、なかなか予算的に無理で、今、急に補正予算を出させてもらっております。

それから4億のうち、それぞれ旧の町村に振り分けてあるわけですが、全体で使う金もありますけれども、1億3,000万ほど旧の下呂市では使っておるといった形で、あとの金につきましても、ほかの町村に振り分けをしてあるのが現状であります。以上です。

〔挙手する者あり〕

○議長（木一良政君）

10番 吾郷孝枝さん。

○10番（吾郷孝枝君）

この観光客誘客宣伝事業に絞りますと、これが当初予算では1億円ほど見てある。今の説明では、これはほとんど使ってしまったと。年度末で1,500万捻出するのは難しいのでというふうにおっしゃいま

したけれど、新年度の予算ということも、ここで今一緒に考えていかなくちやいけないと思いますが、部長、ここで観光商工部としては、新年度の予算にこの分の影響というのか、含めて考えていかれるのかどうなのか、ちょっと確認をしておきます。

○議長（木一良政君）

観光商工部長。

○観光商工部長（曾我満利君）

来年度の予算ですので、これから提出をさせていただきますけれども、今の1,200万につきましては、市が負担するのが1,200万なんです、先行として考えておりますので、来年度の予算としてはこの分を差し引くという形で提出をさせていただくことになっております。

〔挙手する者あり〕

○議長（木一良政君）

10番 吾郷孝枝さん。

○10番（吾郷孝枝君）

そのことをしっかり確認をしておきます。そうでないと、やはり市民になかなかこの説明がつかないと思いますので、そのところはしっかりお願いしておきたいと思います。

○議長（木一良政君）

ほかに質疑ございませんか。

〔挙手する者あり〕

21番 宮川茂治君。

○21番（宮川茂治君）

これは、地域活性化資金という形で4億という形が下呂に来たということです。だから、地域活性化という問題をとってみると、例えば国がいろんな制限をするかせんかという問題も一つあるやろうと思うんやけれども、そういうのがあるかないかという問題もあるんやが、地域活性化につながる事業というのが実際の中で取り組んでいく非常に大事なことになると思うんです。だから、その辺についての考え方をちょっと教えてください。

○議長（木一良政君）

企画部長。

○企画部長（早兼高美君）

特に今回のきめ細かな臨時交付金の経緯、要綱等を見ますと、やはり厳しい経済状況となっております、特に今回の場合は零細、あるいは中小企業に応援するというような形。いわゆる受注のチャンスを与えてということになっております。特に今回の場合は、主として小規模なインフラの整備というような形になっておりまして、事業の形としては、来年度の予算で考えておりますような事業を前倒しして、できるだけ予算の執行の切れ目のないような形で応援していきたいというような趣旨になっておりますし、側溝の修繕だとか、あるいは施設の改修、いろんな多方面の業者さんに恩恵が与えられるような事業を選別しておるといってございませう。

それと要綱的には、交付金というような形で、昔の補助金というようなことではなくて、緩やかな形になっておるといってございませう。いわゆる地域が主体となって考えて、経済対策をしていくと、やりやすくなっておるといふふうに考えております。

〔挙手する者あり〕

○議長（木一良政君）

21 番 宮川茂治君。

○21 番 (宮川茂治君)

確かに地域中小企業というか、零細企業もあつたりするわけですから、そういう人たちにどういう形で事業を回していくかという問題、これも一つの地域活性化の大きなつながりになるわけですから、そういう一つの事業をしていくかいかんかによってもかなり変わってくるわけですので、その辺を取り上げてやっていただくことをお願いします。以上。

○議長 (木一良政君)

ほかにございませんか。

[発言する者なし]

これで質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま説明をいただきました議第4号及び議第5号については、会議規則第37条第3項の規定によって委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認めます。よって、議第4号及び議第5号については委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

次に、原案に賛成者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

討論なしと認めます。

これで討論を終結いたします。

これより採決を行います。

議第4号 平成21年度下呂市一般会計補正予算、本案を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

挙手全員です。よって、議第4号については原案のとおり可決されました。

議第5号 平成21年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算、本案を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

挙手全員です。よって、議第5号については原案のとおり可決されました。

◎閉会の宣告

○議長 (木一良政君)

これをもちまして本臨時会に付議されました議案はすべて終了いたしました。よって、平成22年第2回下呂市議会臨時会を閉会いたします。御苦労さまでございました。

午前10時45分 閉会

以上会議の次第を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

平成 22 年 2 月 16 日

議 長 木 一 良 政

署名議員 3 番 日 下 部 俊 雄

署名議員 4 番 中 島 博 隆